

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	見附台周辺地区整備事業		
事業担当	都市整備部 都市整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	まちの顔 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'02	2人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、来街者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
見附台周辺地区の複合交流拠点へ市内外から多くの人が集まり、地域や市全体の活性化が図られています。		見附台周辺地区を多くの人が集まる複合交流拠点とするため、老朽化した公共施設等の再整備を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	実施方針策定までの進捗率(平成26年度のみ)			単位	%
	説明・算定式	実施方針策定を100%とした進捗率。H24:整備方針策定40%、H25:PFI導入可能性調査20%、H26:実施方針の策定40%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			100		
	実績		100			
成果指標	指標名	新基本計画策定までの進捗率(平成27年度から)			単位	%
	説明・算定式	新基本計画策定を100%とした進捗率。H27:既存の計画の扱い、及び手続の検討25%、H28:機能や全体の配置計画についての検討25%、H29:新基本計画策定50%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標				25	
	実績					
進捗状況	: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
平成25年度に行ったPFI導入可能性調査の結果及び平塚市PFI導入検討委員会の意見を受け、平成26年度は庁内の関係課と様々な角度から検討を進め、今後の方向性を決定しました。						
平成26年度の検証結果	A: 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	当該地は、市有地であり、また老朽化した市民センターや崇善公民館の再整備要望があるため、必要と考えます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	当該地を市内外から多くの人が集まる複合拠点として整備することにより、有効性は高いと考えます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	当該事業は、基本構想、基本計画を策定しており、整備を進める妥当性は高いと考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	整備手法として、民間活力を活用することを想定しているため、効率性の確保を図っていきます。	高中低
今後に向けた課題の分析 事業費の縮減が課題となります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		整備方針の策定	民活手法等の検討	実施方針等の検討	既存の計画の扱い及び 手続の検討、機能や全 体の配置計画の検討
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	9,450	0	0
事業費 (A)		0	9,450	0	0
執行率 (%)		-	94.50	-	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度取組方針 平成27年度に引き続き、機能や全体の配置計画について検討を行います。
課長コメント 駅至近のまとまりのある公共用地であり、多くの市民に親しまれているエリアであるため、まちの活性化につながる賑わいと集客のまちづくりを着実に進めていく必要があります。